

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年 3月17日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 2874001817 | | |
| 法人名 | さくらケアサービス有限会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム さくら野里 | | |
| 所在地 | 兵庫県姫路市野里434番地の1 (電話) 079 - 225 - 8500 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年2月13日 | 評価確定日 | 平成20年3月17日 |

【情報提供票より】(平成20年 1月13日事業所記入)

n i c h i

| | | | |
|-------|----------------|-----------------|------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成14年 7月 1日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27 人 |
| 職員数 | 25 人 | 常勤 6人, 非常勤 19人, | 常勤換算 20.7人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|------------------|--|--|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り | | |
| | 3 階建ての 1 ~ 3 階部分 | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 80,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000 円 |
| 敷 金 | 有(円) (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | |

(4) 利用者の概要(1月29日現在)

| | | | |
|-------|---------|---------|----------|
| 利用者人数 | 27 名 | 男性 7 名 | 女性 20 名 |
| 要介護 1 | 5 | 要介護 2 | 10 |
| 要介護 3 | 8 | 要介護 4 | 3 |
| 要介護 5 | 1 | 要支援 2 | 0 |
| 年齢 | 平均 86 歳 | 最低 73 歳 | 最高 101 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------|
| 協力医療機関名 | 姫路医療生活協同組合 共立病院 |
|---------|-----------------|

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームさくら野里は、平成14年7月に姫路市の中心街に近い姫路城の東方に位置した場所に開設された鉄筋コンクリート造り・3階建の事業所で、3ユニットを運営されている。入居者の意思、人格の尊重を旨として入居者の目線に合わせたサービス提供に努めることを管理者・職員がチームワークに心がけ、入居者の家庭生活との結びつきを重視されている事業所である。近隣にはスーパーマーケットなどもあり、市街地の環境に入居者がなじみを持って生活されていることも職員との会話の状況からうかがえた。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4) |
| | 前回評価での主な改善課題については介護関連の一部に進捗とその後の取組みの部分も見られるが、全般における改善状況については今後の取組みに期待したい。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4) |
| | 理念の共有の面について、実践は図られていない様子があり、また、評価の意義についても真摯に受け止め、改善に取り組みされており、一部活用が見られた状況であり、今後の取組みに期待できる。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は、6ヶ月に1回開催されているのみで入居者の生活状況等の報告が主となっており、今後、組織の編成も含めて検討されることを望みたい。又、会議の開催及び討議内容の取り組みについても検討されることを期待したい。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8) |
| | 苦情・意見・不満等の窓口を設けて、担当者がその内容を記録し、改善に向けた対応がされており、運営に対する反映も見られた。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3) |
| | 地域行事(夏祭り)等に入居者が参加され、一部地域との連携は見られるが、自治会・老人会との交流はないので、今後、日常生活で地域の方々との付き合いを深め、積極的な連携に努められることを期待したい。 |

2. 第三者評価結果票

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|---|---------------------|---|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | パンフレットには「一人ひとりの生活のリズムを大切にしながら、人と人とのつながりと、なじみ合える楽しいアットホームな雰囲気づくり」が掲載されており、職員心得である「さくら野里10か条」を作成され、毎朝唱和されている。地域密着型サービスとしての事業所独自の理念を作り上げるまでには至っていない。 | | 職員心得「さくら野里10か条」の毎朝の唱和を継続されると共に、地域密着型サービスとして何が大切かを職員全員で考えられ、事業所独自の理念を作り上げることが望まれる。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員心得である「さくら野里10か条」が作成され、全職員に配布・携帯されて、毎朝唱和されているが、地域密着型サービスの事業所独自の理念の共有と日々の実践にまでには及んでいない。 | | 地域の中にある社会資源として、当事業所には何が求められているのかを考慮され、事業所独自の理念を全職員で検討されることを期待したい。また、運営推進会議等でも意見を求め、サービスの向上に努められることを期待したい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会、敬老会には参加されていないが、地域行事(夏祭り等)には参加されており、地域交流に努められているのが見られた。 | | 今後も地域の方々との付き合いを深め、積極的に行事などへの参加に努められることを期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義を真摯に受け止めて、一部の課題改善に取り組まれている。 | | 今後も、更に職員全員で評価の意義を話し合い、認識の共有を図ると共に、具体的に内容を検討されて改善に取り組まれることを期待したい。 |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|----|--|--|---------------------|--|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議では、民生委員・自治会長・家族の参加が見られるが、1回のみで開催で、入居者のサービスの状況を報告しているのみであり、意見交換等はされていない。</p> | | <p>今後は、地域包括支援センター職員及び市町の担当者出席も視野に入れた開催も考慮されて、運営推進会議での意見交換が図られ、サービスの向上に反映されることを期待したい。</p> |
| 6 | 9 | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>市町担当者は運営推進会議には現在のところ出席はないが、市町への提出物等を持参する際になどに連絡交流を行い連携に取り組んでいる。</p> | | <p>市町との連携については、今後も相談・提出物などの機会を見つけて市町窓口に出向くなどして担当者に働きかける工夫を望みたい。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>4ヶ月に1回の近況報告にて、暮らしぶりや健康状態や変化について報告している。職員の異動などについては家族会で報告している。金銭管理については、収支帳簿も整備され、毎月報告されている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族等の苦情・意見・不満などについては、窓口を設け、担当者が話の内容を記録し、改善に向けた反映が見られた。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>止むを得ない場合以外の異動は極力せず、利用者との信頼関係を築けるようにされている。開設以来の職員の異動は極めて少ない。</p> | | |


| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|---------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修等にできる限り参加するようにされている。また、施設内研修を実施し、職員のスキルアップに努められている。又、資格取得に必要な研修についても便宜を図られている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者・職員と地域の同業者との交流は極めて少なく、現在のところ姫路グループホーム連絡会での活動も見られないとの説明がされた。 | | 地域で行われる懇談会等へ積極的なネットワークを広げると共に、今後姫路市グループホーム連絡会等を通じた研修会や勉強会への参加と地域の同業者との交流づくりに取り組まれることを期待したい。 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 相談から利用に至るまでの間、事業所は、入居者及びご家族の視点に立って、入居者が安心してサービスを利用できるように徐々に馴染んでいける支援をされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は入居者と共に食事作りや掃除をするなど支えあう関係が見られる。又、職員は入居者から郷土料理や季節の習わしなど色々なことを学んでいる様子が見られた。 | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>居室担当職員が中心となって、入居者一人ひとりとコミュニケーションを図り、思いや希望を汲み取るよう努力している。意向の把握が困難な場合には、本人本位に検討がされている。</p> | | |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>チーム全体の意見を反映し、入居者・家族の意向を大切にしながらケアのあり方を反映した介護計画の作成に取り組んでいる。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>時期に応じて6ヶ月毎に見直しを行っている。入居者の状態に変化がある時は、その都度、見直しを行い、介護計画の変更がされている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>医療連携体制を活かして、その入居者にとって負担となる受診や入院の回避、医療処置を受けながらの生活の継続ができるよう支援がされている。</p> | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|----|---|--|---------------------|---|
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診時には、主治医に日々の状況・変化を詳しく説明し、適切な治療を受けられるように支援している。又、家族が受診に付き添う場合も、入居者の日々の状況・変化を家族に報告し、主治医に指示を受けている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 家族会において、重度化した場合のあり方について事業所の方針を活かし、家族等の意向や要望を聞き、全員が方針を共有されている。 | | 終末期におけるあり方については家族、入居者、主治医との話し合いが必要であり、今後の方針や共有に取り組まれることを望む。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない | トイレも各個人の個室に設置されており、プライバシーに配慮されている。又、トイレ誘導時などは自尊心を傷つけないような言葉かけ等の対応を心掛けておられる。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者一人ひとりの生活ペースを大切にした支援を行っている。その日の入居者の希望に添った支援が見られた。 | | 入居者一人ひとりのペースを大切にし、希望に沿った支援をできるように更に業務の見直しに取り組まれることを期待する。 |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|---------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 料理はできるだけ、入居者と一緒に作っている。季節を感じていただけるようにメニューにも旬の食材を取り入れるようにしている。又、入居者と共に野菜を切ったり、盛り付けをしてもらうなどの支援もされている。入居者は、食器洗いもされ、後片付けもされている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 月・火・木・金の週に4日で、日中のみの入浴と決まっている。その時間内で利用者は希望の時間に入浴が楽しめるよう支援されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活歴を家族より聞き、一人ひとりに合わせた役割や楽しみなどの支援をしている。畑仕事、カラオケ、喫茶店への外出や花の苗を買いに行くなどの支援が見られる。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散髪・買い物等、希望があれば、できる限り出掛けられるように支援されている。 | | 今後も引き続き、入居者一人ひとりの希望を大切にされて、外出支援の努力を続けられることを望む。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 8:00～19:00の間、玄関は施錠せずに、入居者が外に出たい時は、職員と一緒に付き添い対応している。 | | |

| 第三者 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|---|--|---------------------|---|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>避難訓練は年1回定期的に行っているが、緊急時の避難について階段使用が難しいため、地元消防署と相談の上、ベランダへの避難になっている。地域の人々に協力については現在のところ働きかけはされていない。</p> | | <p>災害対策については重要な事柄なので、避難訓練等、日頃から地域の人々にも協力してもらえるように働きかけをされることを望む。</p> |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>栄養バランス、水分量は、一部入居者に合っていないとの説明がされた。体重が増加傾向にあり、水分量は1日1,000～1,500ccを目標にチェックし、対応されている。</p> | | <p>献立記入時等、栄養バランスを整えて入居者一人ひとりに対する支援に取り組まれることを期待する。</p> |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>全体的に入居者の好みの音楽を流したり、玄関・食堂には季節を感じられる様な飾り物等展示されている。又、テーブルには生花が飾られ、居心地よく過ごせる工夫が見られた。</p> | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居時には自宅で使用されていた家具、布団、その他物入れ等なるべく使い慣れたなじみの物を持ち込まれている。安心感のある住まいに近づく工夫が見られた。</p> | | |

 は、重点項目。